

フライパン・鍋固定具の製作

1 相談内容

相談者は右半身まひの女性です。まひのため左手しか使えず、家族のために炒め物や煮物を作る際、フライパンや鍋が動いてしまってやりにくかったとのことでした。片手で料理できるように、調理器具を固定するものがほしいとの依頼がありました。

そこで、フライパンや鍋を柄の所で固定する自助具を提案しました。本人もそれで試してみたいと納得されたので、製作することにしました。

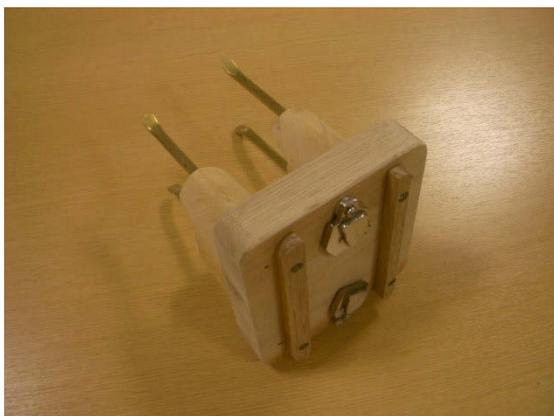
2 利用者プロフィール

50代女性、脳梗塞による右半身まひで身体障害者手帳2級、要支援2であり、家族4人で暮らしています。身の回りのことはご自身だけでできますが、調理には少し手伝いが必要です。

3 対応

ベースとなる木板の上に木材ブロック2個を取り付け、そこへ2つつ穴を開け、真鍮パイプを差し込みます。パイプ上部はつぶして平らにして柄を入れやすくします。木板の裏面には壊れたハードディスクを分解して取り出したネオジウム磁石2個を取り付け、力加減を見て、木枠を付けました。

ガスレンジの上にこのフライパン・鍋固定具を置き、調理時に左手がじゃまにならない位置にセットします。位置を変えたいときは、この固定具を左手で持ち、横にずらします。なお、この固定具裏面の木枠がないと磁石が強力すぎて位置を変えることができないため、この木枠の厚さが重要です。また、木材ブロック2個の高さが違うため、柄の高さや太さの異なるフライパンや鍋に対応できるように工夫しました。



裏面に取り付けた磁石と木枠の様子



使用状況

4 結果

本人からは、「これまでのようにフライパンが動かないので、炒めもの等を作りやすくなりました。」と感想をいただきました。